

謹賀新年

笑顔と活力があふれ、川根本町のことを
誇りに思う「心がふれあう感動のまちづくり」。
共に築いていきましょう。



町民の皆さまには、希望と輝きに満ちた新年を迎え、健やかにお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。平素は、町政全般にわたり温かいご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

これまで、「心がふれあう感動のまちづくり」を町政運営の軸として、「安心して住めるまちづくり」、「農林業が元気で豊かな経験・自然を生かしたまちづくり」、「交流とふれあいのまちづくり」という3本柱のもと、協働・連携により持続的に発展するまちづくりを進めてまいりました。町民の皆さまの積極的な参画に感謝申し上げます。

昨年は町制施行(合併)10周年を迎え、9月13日には10周年記念式典を盛大に挙行させていただきました。本町の地方創生元年として位置づけ、さらなる躍進ならびに皆さまと次の10年を共に歩んでいくことをお誓いいたしました。

10月には、「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。人口が少なくても素晴らしい地

域資源を持つ自治体と地域が、自らの地域に誇りを持ち、地域の活性化と自立を住民自らの手で推進し、将来にわたり美しい地域づくりを進めていく理念に基づき、本町も取り組んでまいります。また、県内初の取り組みとなる森林再生と地域活性化の両立を目指す「木の駅かわね」もスタートし、今後の活動に期待をしております。

12月には新町建設計画の主要プロジェクトの一つ、「高度情報基盤」の主要整備が完成し、悲願でもあった都市部や町内地域間での情報通信格差が解消されました。今後は整備した情報基盤を最大限活用し、平成28年度予算においては、近年多発する異常気象に対応する防災分野での活用、利用者の利便性向上を図る無料WiFiスポットや観光ポータルの運用などについて具体的な予算措置を行い、議会にお諮りしていく準備を進めております。

本年は、昨年策定した「川根本町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生の取り組みを加速させてまいり

ます。特に、高度情報基盤を活用した交流人口の拡大やICT関連事業はもちろんのこと、徳山区に本年3月完成予定の若者交流センター「奥流」においては町内外の若者交流促進や地域交流の拠点としての活用を図ってまいります。また、人口減少の克服を目指し、移住・定住促進のため、特色ある学校教育の充実や子育て、就農、起業・開業などの支援を充実させてまいります。道路関係では、国道362号青部バイパスのトンネル工事の着手に合わせ起工式が予定されており、安心して暮らせる生活環境の整備に努めてまいります。

最後になりましたが、引き続き、町民の皆さまのご協力と参画・協働をお願いしますとともに、平成28年が皆さまにとって、希望に満ち飛躍する一年でありますことをご祈念申し上げます。新春のごあいさつといたします。

川根本町長

鈴木敏夫